

No.9-2005

平成17年9月30日発行

9月例会を終えて



去る9月13日(火)に秋田キャッスルホテルにて秋田市環境部環境企画課主査である三浦良幸氏を講師にお招きし、「地球温暖化防止」～我々に出来ること～と題して9月例会を開催させていただきました。

先月の打ち水大作戦に続いての地球温暖化防止に関するものですが皆さんいかがだったでしょうか？

身近なところにもいろいろあるということにお気づきいただけただけでしょうか？

私は普段何気にしている行為が地球の温暖化を促進させていたなどの勉強不足を痛感させられました。

クリーンアップ運動の基本精神「捨てるものなければ拾うものなし」等を再認識して環境行動推進というものをもっと一社会人として勉強しなければならないと考えさせられました。

地球温暖化の防止に対する第一歩はちょっとした心遣いや行動からです。(ex. テレビの主電源を切る。PCのスタンバイ状態を止める等)9月例会が皆様の環境保護に対する考え方の一助になれば当委員会としても幸いです。

最後になりますが当日の資料配布の点などで至らぬ点が多々あったと思いますが、お忙しい中お集まりいただいたメンバーの皆様まことにありがとうございました。

環境行動推進委員会
副委員長 高田寛貴



定時総会を終えて



去る9月13日17:30より秋田キャッスルホテルにて、2005年度9月定時総会が開催されました。議長として長谷川副理事長が指名され、長谷川専務理事の中間報告の後に谷口理事長、松村直前理事長、斎藤特別顧問の挨拶を頂き定数確認後に審議へと移りました。そして以下の議案が満場一致の賛成で承認されました。

<第1号議案> 2005年度補正予算(案)件

<第2号議案> 2006年度理事長承認の件

イ) 選挙管理委員長経過報告

選挙管理委員長 酒井 邦彦君

ロ) 2006年度理事長承認

<第3号議案> 2006年度理事選任の件

<第4号議案> 2006年度副理事長、専務理事選任の件

<第5号議案> 2006年度監事選任の件

最後に渡部理事長予定者からの力強い挨拶の中で2006年に対しての心意気を感じ取る事が出来ました。また、今回の定時総会について委員会回りを行った結果として出席人数の増加に繋がり大変嬉しく思います。早い時間の開会ではありましたが、メンバーの皆様には多数の出席をして戴いた事、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

総務交流委員会 三浦 圭介



東北青年フォーラムを終えて



9月3日から4日（ウェルカムナイトを含めば2日から）まで、盛岡から歩いて3日（！）かかる宮古市で、陸中宮古JC主管のもと、東北青年フォーラムが開催されました。

3日は鈴木充委員長が出向している東北ゼミナール委員会の閉校式も多くの方々に参加いただき盛大に行われました。ゼミナール委員会メンバーから力強い提言があり、これからの各地LOMの活躍が目に見えるようでした。最上常任理事が副議長として出向している全国大会支援会議も全般にわたりフォーラムを支えていました。熊澤あゆ子君、佐藤操君、高田寛貴君そして私が出向している東北地域力発信委員会の事業は当日のアクシデントがあり、思うような成果を出すことはできませんでしたが、これからの事業展開のため有意義な時間を創造できました。

大懇親会（斎藤秀光特別顧問率いる全国大会運営会議の皆さんのPRタイムはLOMメンバー大活躍でした）やLOMナイトも大いに盛り上がり（途中私は委員会ナ

イトへ参加したため、皆さんが宮古で悪さしていないかチェックしていません）、翌日のメインフォーラム（地域の魅力をどう伝えていくかを映画作家の大林宣彦さんの講演とパネルディスカッション）や卒業式（卒業生が登壇しEPOさんのミニコンサート）も最高でした。

陸中宮古JCメンバーが40名程度という中、岩手ブロック内会員会議所の副主管もあり、岩手県全体で行う大会を実感してきました。このことは、来年郡山で開催される全国大会を東北全体で盛り上げていく、ということに繋がっていくことを強く感じてきました。



当日は谷口理事長はじめ多くの方々にご参加いただき、誠にありがとうございます。東北地区協議会役員の一員として心から御礼申し上げます。

2日のウェルカムナイト、3日の大懇親会両日にわたり素敵な変装を見せてくださった岩本副理事長（地区監事）ありがとうございます。LOMメンバー全員へ見せたかった・・・。

常任理事 地域力創造室長 阿部大助

上期面接式



去る9月22日（木）秋田キャッスルホテルにおいて、2006年度上期面接式が開催されました。当日は、入会希望者11名を含め、50名近くの方々に参加していただき、活気に満ちた面接式・名刺交換会となりました。面接式では、入会希望者に対し、谷口理事長より「これからのJCスクール・例会を始め、100%出席を目指し、参加して欲しい。同じ仲間として一緒にがんばりましょう。」という激励の言葉、松村直前理事長より「地域社会においてやらなければならない事をやる人を育成、輩出するのがJCである」というJCへの思い

を語っていただきました。その後、各スポンサーからの入会希望者の紹介があり、入会希望者お一人ずつ自己紹介と今後の抱負を語っていただきました。積極的にJC活動に参加していきたい、という熱意が感じられる抱負だったと思います。

引続き行われた名刺交換会では、お酒もはいいり、時間が経つにつれ入会希望者の緊張もとけていき、会場内のあちこちでメンバーと歓談している姿が見受けられました。非常に和やかな雰囲気の中、面山浩康先輩より入会希望者にむけて激励のお言葉をいただき、長谷川副理事長の中締めで、名刺交換会は終了しました。今回の入会希望者が正会員になり、共に活動でき



る日が待ち遠しく感じられる名刺交換会だったと思います。

今年度から新しい組織体で会員拡大活動に臨み、年度当初の目標としていた通年で40名という目標にはとどきませんでした。次年度に向けて、手ごたえを感じた1年になったと思います。

この度の会員拡大にあたり、OB、現役メンバーの皆様からの情報提供、ご支援をいただきありがとうございました。今年も残り少なくなり、次年度にスムーズな引き渡しができるよう、スタッフ一同気を緩めず頑張っ

て参りますので、更なるご支援をよろしくお願い致します。

最後に、面接式に参加していただきました多くの皆

様、どうもありがとうございました。

会員拡大推進会議 加賀屋 久人



「かわいい子には旅をさせるIN白神」を終えて



9月10日～11日の1泊2日の日程で、秋田県キャンプ協会のご協力のもと世界遺産白神山地を舞台として「かわいい子には旅をさせるIN白神」を開催いたしました。当日小学校3年生以上の子供たち31名にご参加いただき、親元を離れ自分たちだけでテレビも、ゲームもない大自然の中での生活が始まりました。

集合場所に集まる子供たちを見ていると、親元を離れるということでも多少不安そうな子供もおりましたがそれ以上に、保護者の皆様が心配そうにしておりました。時間になりバスに乗り込み一路白神に向け出発いたしました。バスの中では、グループの名前を決めたり県名当てゲームをしたりと初対面のお友達同士のグループでしたが、グループリーダー（JCスタッフ酒井君・造酒君・岡部君）の日ごろ学んでいるリーダーシップがきらりと光り、スムーズに、また楽しながら目的地に到着いたしました。

到着後は初日のプログラムとして、アイスブレイキング（初対面の友達同士がうちとけ合うような体を使ったゲーム）、自分たちでのテント張り、火熾し体験、空き缶でご飯を炊く夕食作り（カレーライス）、ボンファイヤー、スターウォッチング等たくさん



のプログラムを行いました。中でも火熾し体験は昔ながらの道具を使い、目をキラキラさせ汗をかきながら一生懸命チャレンジして、火がついたときには歓声

があがり火熾しの大変さが実感できたと思います。また、夕食作りではぼつぼつと小雨が降る中、グループごとに料理長を決めみんなで楽しくテキパキと調理をこなしているうちに空き缶で炊いたご飯が炊き上がり、おそろおそろ空けてみるとみんなきれいに炊けていました。

その後、夜空の下で「いただきます」の予定が、突然の大雨で急遽炊事場での立食、その後、近くの温泉での入浴等一部プログラムの変更がありましたが、3時間ぐらいで雨もやみボンファイヤーを行い荻原慎太郎君の子供たちを感動させる体験談を聞き、一日を振り返り初日のプログラムを終了いたしました。途中心配で、一部の保護者の方より電話等がありましたが、親の心配をよそに子供たちをたくましく感じたのは私だけではないでしょう。



二日目は晴天となり、白神山地の二ツ森登山を行いました。途中の道のりは厳しかったものの（昨日の疲れか子供以上にスタッフがバテバテ・・・？）頂上での壮大な景色に感動を覚えたのは子供だけではなくと思います。その後バーベキューを行い、一路秋田の解散場所へ向かい心配そうに迎える保護者をよそに、達成感と楽しい思い出を胸に満面の笑みで親元にお返しして全プログラムを終了いたしました。

この事業を通じて、子供たちに大自然の素晴らしさや自分たちだけでもやれば出来るという自信と、たくさんの感動を与え大きな怪我・事故も無く無事終了できたのも、ご協力いただいた秋田県キャンプ協会の皆様・当日お手伝いいただいたスタッフをはじめ、メンバーの皆様のご理解・ご協力があった初めて出来たものと思っております。感謝申し上げます。また本当にありがとうございました。

青少年育成委員会 委員長 滝田 敏喜

卒業生コラム 曾我 祐一君

えっ？俺ってITな人なの？

平成4年7月に入会してから早13年・・・長い間JCに籍を置いていると、自分の「色」というのが自然と出来てしまうものらしい。

いつだったろうか、今年一緒に卒業する嶋田さんに「私はTOYPな人だけど、曾我君もホントITな人だよね～」って話をされたことが、今でも何故か心に残っている。「えっ？俺ってITな人なの？」と内心苦笑してしまうが、これといって取り柄のない人間の自分にとっては、唯一人の役に立てる素材ではあるかもしれない。

そもそもの切っ掛けは98年の事務局長時代のペーパーレス会議を立ち上げた事だが、その時の苦労が今となっては本当に自分の身になっていると実感している。現在のようにワープロ感覚で手軽にHTMLファイルを作れるのとは違い、当時はそれなりに

に苦労も多かったけれど、この時勉強した基礎知識が、後の創立50周年第2記念事業の時まで役に立ちました。

『自分でも何かのお役に立つのだ。このことは喜びである。この喜びは自分の一生が無意味でないことを示している。このことを幸福に感じるのである。』

武者小路実篤 (小説家)

創立50周年という大きな節目の年に、何か少しでも役に立てたであろうという多少の自己満足を感じたJC最期のお土産に出来たことに対し、そのチャンスくれた深沢功君や斎藤秀光君を初めとする皆さんに心から感謝しています。

現役メンバーの皆様。気持ちを白けさせずに、自分が夢中になれる物、楽しく付き合える仲間を探す為の時間をたくさん費やしてみてください。

きっと自分にいいことがありますよ^^。

総務交流委員会 曾我祐一

10月例会

なまはげのカン

魅力あるあきた推進委員会・魅力あるあきた市民ミュージカル

(社)秋田青年会議所のはじめての事業「市民ミュージカル」は、今年の4月よりキャストを一般公募し5月に選考、6月には配役も決まり毎月4～6回以上の厳しい稽古を乗り越えて10月22日の本番に向けて頑張っております。

ミュージカルの醍醐味は、歌・踊り・そしてストーリーの面白さと音楽、舞台芸術の「総合商社」と言われるほど多面的な能力が問われる芸術分野です。このような事業を行うには様々な分野のスペシャリストのお力が必要で、それを総合的に集約するため、田沢湖わらび座より総監督として栗城宏氏、おやこミュージカル(秋田市)より演出として平岡宮子氏をお迎えし担当して頂いております。

物語の山場にこんなセリフが登場します。「山は国の宝なり。しかし、切り尽くせば用をなさず、尽きざる以前に備えをたつべし。山の衰えは即ち国の衰えなり。」

(山の恵みをずっと受け続けるためには、目先のことだけ考えて切り尽くしてしまってはならない。常に自然界と人間界の調和を考え先に備えなくてはならない)という意味です。この舞台を通して、自然とは何か？自然と人間の関係は何か？と再度確認すると共に、子供達の存在もこれからとても重要だと説く舞台です。

是非ともたくさんの皆様方に御覧になって頂ければ幸いです。チケットご希望の方は、(社)秋田青年会議所事務局までお問い合わせ下さいませ。(大人1500円 子供750円)

魅力あるあきた推進委員会 委員長 阿部勇一



編集後記

近所の70歳の方からある依頼がありました。

「すみませんが私の庭を見てもらえませんか？」とのことでした。早速行きました。すると丁寧に整理されている庭でした。

「なにを見てほしいのですか？」と尋ねると、「あなたのすばらしいセンスで樹形のアドバイスがほしいのです」とのことでした。つまり、自分が精一杯努力してきれいにしている木の樹形と職業柄の見方との評価を迫られました。手を加えなくてもいいのですが、

自分なりにアドバイスをさせていただきました。

「毎日散歩道、通勤路、近所、公園、樹木の本、などの木を見ていると勉強になりますよ。なぜ見てほしかったのですか？」と聞くと、

「一日黒松の木に登って剪定しているところを通りすがりに見ていました。いくらきれいにやってもうまくいかない。隣の芝生は青くみえる。

この年になっても庭いじりはむずかしいものだなー」との事でした。だからこそ思います。追い詰めれば追い詰めるほど難しい。自分流のセンスをもつことが大切だと日々思います。

情報戦略推進委員会 猪股慎哉